

災害対策担当者に聞く 主な課題と対応策

課題 職員の初動体制

・各々が動き始めたことから、職員の把握が難しかった。

対策

災害時の初動マニュアルを見直し（既に実施済）

課題 行政区との連携

物資配給などの情報のタイムラグから混乱が見られた。

対策

サポーター職員を中心とした行政区との連携強化

課題

避難所運営

・避難所の運営に対して細かな取り決めがなく、行政区の方で対応に困った状況が見られた。

対策

・トイレの小便器、手洗センサーが作動せず、水が出ない状況が見られた。
避難所運営マニュアルの作成
手洗い、小便器のセンサー改修の予算化

行動調査からみた 議員の行動

その時議員は何をしたか？

◎役場に対して情報の確認を行った。

◎避難所に数回足を運んだ。

◎自主防災組織と避難所の対応を行った。

◎地域の高齢者の安否確認を行った。

◎福祉施設や病院に食料を届けた。
◎地域の状況を把握するため巡回した。

議員として何をすべきか？

※議員意見

【災害の最中】

◎行政区（自主防災組織）と連携して行動

◎行政と情報共有しながら行動

◎個人宅への安否確認

◎地域で発生している問題点を行政に伝達

【災害後】

◎必要な改善策が速やかに行われるよう、提言や予算措置への対応

◎行政の災害対応を把握し評価

災害時の 新十津川町議会のあるべき姿とは

停電における行動調査をした結果、議員それぞれの考えのもと様々な行動をとっていました。しかし、行動の範囲や内容は個々の価値観によるため、内容も行動量も様々です。今回は停電でしたが、地震、台風、水害、雪害などの災害を想定し、議会として何をすべきかを考察します。

災害時における議会の役割

議員研究誌「地方議会人」より

【行政の適切かつ迅速な対応を支援】

■ 住民への情報提供

行政と連携し、正しき確かな情報を住民に伝える役割を担う

■ 行政への情報伝達

住民の被災状況等を集約して行政に伝える。

【災害発生後の復興に向けた対応】

復興対策に向けた補正予算の決議

■ 首長専決処分のチェック

住民（被災者）の立場に立った迅速な対応を要求

このような具体的な議会の役割を災害対応行動マニュアルで定め、行政が災害対策本部を設置すると同時に、議会でも災害対策支援本部を設置し、議会として行動する事例も紹介されました。

情報収集、情報提供などは決して議員個々で行うのではなく、窓口を一本化することが大切とのこと。

【考察】

今回の停電時には、私たち議員は議会としてではなく地域住民の代表としての意識から行動していただくことが分かりました。その中で、災害対策をスムーズに行うため、議員個々が対策本部に情報収集、伝達するのではなく、議会事務局を通じて、行うべきだったと反省すべき点も見えてきました。今後、大きな災害を想定しつつ、新十津川町議会が災害時の役割等をしつかり考えなければならぬと実感します。

